

SHMAGA

2020|10

本社3階モデルのリニューアルオープン特別号

緊急特集
本社3階モデル
改装のすべて



行きたくなる。案内したくなる。

2階から3階へ特徴的な線状の照明が私たちを導く。



その先で、視線を引き付けるのは、ラグジュアリーな大理石のタイルを照らす間接照明。

お客様大注目。 テノールカウンターのキッチン



システムキッチン: TOCLAS

職人の手作業で仕上げられている

今、お客様が大注目されているシステムキッチンのワークトップがあります。そう、トクラスの『テノールカウンター』仕様のシステムキッチンです。実は、テノールカウンターの標準化は、泉北ホームの山本社長・副社長・専務・常務・インテリアコーディネーター部長が、トクラスのデザイナーや上層部と、直接面談してやっと実現したものです。

『デザイン・機能ともに最高、ただし金額を』という山本社長の値段交渉の末、ついに標準採用に至りました。

ちなみに、テノールカウンターは職人さんが一つ一つ手作業で仕上げられているのですが、その作業風景本社3階モデルで上映中です。良かったらご覧になってください。

ちなみに、泉北ホームの本社3階モデルでは、テノールカウンターのバーストブラウン色が展示されています。また、アイアンブラック色は『なんばモデルハウス式号館』で、フレークシルバー色は『伊丹市役所前ショールーム』で実物をご覧いただけます。

『これも標準！？』に誘う設備



新設置されたタカラスタンドートの 洗面化粧台とシステムバスは見逃せない。

今まで泉北ホームでは実際にご覧いたたけなかった、プレミアムパッケージ仕様のタカラスタンドートの洗面化粧台とシステムバスが初設置されました。

洗面化粧台には『高品位ホーロー』のタカラスタンドードを採用。ここでは、あえてタカラスタンドードしかないグリーン色が採用されています。珍しいグリーン色を使ったご提案をぜひご覧ください。

さらに、システムバスにもタカラスタンドードが採用。マグネットがくっつく『高品位ホーロー』は山崎産業から販売されている生活雑貨との相性も抜群ですので、アイディアの一つとして、いかがでしょうか。

また、トイレには、泉北ホームではお馴染みの日本一の超節水トイレ、TOTOの『ネオレスト』が採用されています。

洗面化粧台：Takara standard
システムバス：Takara standard
トイレ：TOTO



狭小地こそスペースを使い切る

デッドスペースになりがちな上部空間にも「機能」を持たせることが、空間の有効活用への秘訣。



2400の天井高が高く感じる

あえて一部の天井高を2100まで下げることで、逆に2400の天井高が高く見える工夫が凝らされています。



タレ壁を収納スペースとして活用

LDKのタレ壁を活かした収納がご覧いただけます。ネガティブなイメージをポジティブに変えるご提案です。



収納という明確な目的をもったニッチ

収納として使いやすい奥行きと高さのニッチを設置。トイレトーパー24個分も収容可能。使用目的を明確にすることでデッドスペースをなくしました。



空間を活かした上部カウンター

洗面脱衣所の上部に、収納として使えるようにカウンターを設置。高い場所にはあまり使わないストック品がおすすめです。



広く見える勾配天井

4.5帖の部屋を勾配天井にすることで、逆に広く見える錯覚を利用。十分な広さだと再認識させてくれます。

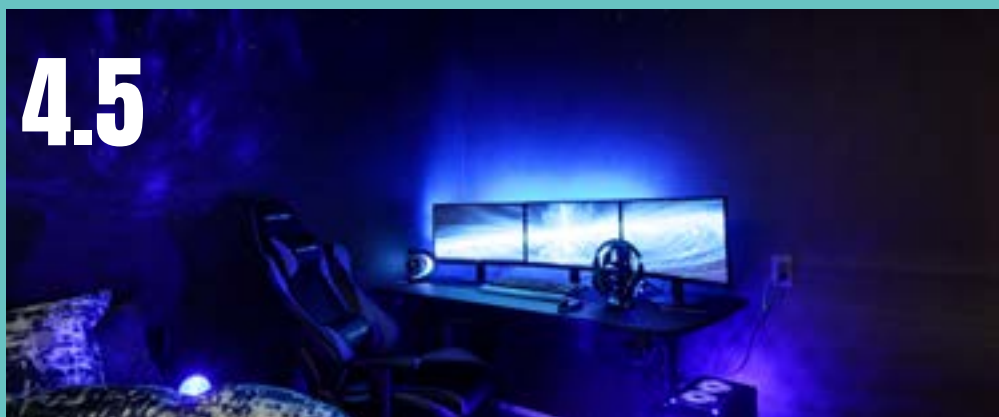


1坪の洗面所にたった20cmの収納

様々なストックからタオル・脱衣カゴまで、乱雑になりがちな洗面所が、たったの20cmでとっても快適な空間になりました。



畳数別の広さ体感



7.5帖の部屋は実質は8.13帖です。収納の奥行を910から750にすることで8.13帖となっています。

あえてダイニングテーブルを撤廃した提案

大きなL型のソファを購入しても、そこで寝てしまう人がいると2人しか座れない。そこで、お昼寝をしたり、映画を寝ころびながら見たい方へのご提案として、『デイベッド』として使える1.5人用のソファベッドが設置されました。

また、散らかりがちなリビングテーブルをあえてなくして、サイドテーブルのみを設置。LDKが広く使えるような工夫もされています。



コンパクトだっていいかも。17帖のLDK

お風呂を設置するために、以前の20.8帖のLDKと比べると、約3.8帖ものスペースを削ることとなったため、17帖と一般的なLDKと比べると小さくなってしまいましたが、それでもご家族が十分に過ごせる17帖になったと思います。



4.5帖のプロジェクト・ブルー



4.5帖？この広さなら十分だよね。

4.5帖のお部屋を勾配天井にすることで広く、感じる錯覚を利用しました。



最近の泉北ホームのお客様の傾向として、断熱・気密の性能値がお好きな『理系男子』なご主人様が増えたように感じています。

そこで、ゲーミング、コックピット、秘密基地をテーマに男のロマン溢れるお部屋を意識しました。ご主人様もテンションが上がって、家づくりに前向きになる？建設当初は子ども部屋として、お子様が 巣立った際にはお父さん専用部屋にもなりますよ！」というご提案です。

W=910 D=910



W=910 D=455



リアルサイズの収納集

設計打ち合わせにも便利!
使い勝手も抜群なリアルサイズの収納たち!

W=1365 D=750



W=1820 D=750



NEW SOLUTION

夏の《日射遮蔽》を解決する こだわりのソリューションが登場しました！

年々高まる温熱環境への関心。

そこで、設計提案として「アウターシェード」を、
インテリア提案として「ハニカムブラインド」をご用意させていただきました。



選べるテレワークスタイル

新型コロナウイルスの影響によってテレワークが推進されています。

3階モデルでは3つのワークスタイルをご提案します。

リビング×ワークスペース



子どもが小さいから心配だったり、面倒を見たりする必要があるときは、リビングにデスクを設置してワークスペースとして使うアイデアはいかがですか？夜は子どもが勉強したりとリビング学習としても使える家族全員で共有できます。



寝室×ワークスペース

主寝室の一画に、二人で使えるサイズのデスクを設置。広々とした作業空間を確保することで、ご夫婦そろっての在宅勤務が可能です。狭い空間でも圧迫感を感じずに、広々とお使いいただけます。



洋室×ワークスペース

雑音があると集中できないという方には、生活音が気にならない個室でのテレワークがおすすめです。テレワークがなくなっても書斎や、趣味部屋としてお使いいただけます。

最初に検討されるのは、

『ウォールナット色(こげ茶)』

泉北ホームではパナソニックのキッチンがある部屋を筆頭に採用している『オーク色』が人気ですが、日本の流行の発信地である東京では『ウォールナット色』が人気の兆しを見せています。

また、パッチワークのような『材木ミックス』も提案され始めているようです。

そこで今回は、お客様が一番最初に検討されることが多い『ウォールナット色(こげ茶)』を採用しました。採用したウッドワンの床突板は本物の木をスライスし、無垢の良さと、合板による反りが発生しにくいハイブリッドな仕様の床材となっています。

総合的なテーマは"カフェ・ホテル・レストラン”。



Hotel



Restaurant



選 択されたインテリアのコンセプトはカフェ・ホテル・レストラン。

ゆったりとした時間が流れていくような上質な空間が演出されています。

知っておかないとヤバい？ 北欧スタイルの定番集

北欧スタイル人気No.1ブランド。それが『アルテック』

北欧家具や北欧インテリアの流行のきっかけにもなったとも言える映画「かもめ食堂」。この中で使われているのが、Artek（アルテック）の家具です。アルテックは1935年、アルヴァ・アアルトらにより「家具を販売するだけではなく、展示会や啓蒙活動によってモダニズム文化を促進すること」を目的に、ヘルシンキで設立されました。シンプルで無駄のないデザイン、そして曲線を主体とする柔らかな佇まいから、国内随一の人気を誇る北欧家具ブランドです。ちなみに、アルテックという社名は「アート（芸術）」と「テクノロジー（技術）」という1920年代に沸き起こった国際的なモダニズム運動のキーワードを掛け合わせた造語です。



3階モデルで見られる北欧スタイルのご紹介

90A テーブル アルテック

モダニズムデザインの巨匠であるアルヴァ・アアルトによって、1935年に作られたシンプルでナチュラルなダイニングテーブル。フィンランドのヘルシンキを舞台にした映画「かもめ食堂」の中でもたくさん登場しました。



ドムスチェア アルテック

1946年にヘルシンキの学生寮ドムス・アカデミカの為にイルマリ・タピオヴァーラがデザインしたドムスチェア。フィンランドらしい骨太な作りでとても丈夫、40年以上経過した古い物ですら安定して座れます。



チェア69 アルテック

artekのチェアシリーズの、中でも一番人気のチェア69。一見小ぶりなチェアですが、カーブがかった背もたれが背中をしっかり支え、ゆったりとした座り心地。圧迫感の無いすっきりとしたデザインです。



カール・ハンセン&サン シーエイチ24

北欧家具のスター選手！通称Yチェアのデザイナーは20世紀を代表する家具デザイナーのハンス・ヨルゲンセン・ウェグナー。生涯で500以上の椅子をデザインし、北欧デザイン界に多大な影響を与えました。



トリップトラップ ストッケ

世界中の家族から愛されている革命的なハイチェア「トリップトラップ」は、人間工学に基づき小さなお子さんから正しい姿勢で座れるように開発。「子どもから大人まで」成長に合わせて座れます。



白くま貯金箱 プラステップ

フィンランドのノルデア銀行が、ノベルティとして子どもたちにプレゼントしていたものを、復刻生産した白くまの貯金箱。インテリアの中に置いても違和感なく溶け込む、チャーミングなアイテムです。



ライオン リサラーソン

スウェーデンを代表する陶芸家リサ・ラーソンによる陶器のオブジェ。彼女の手から生まれた温かみのある動物たちは、ちょっととぼけた顔立ちながら愛嬌があり、存在感はたっぷり。



バード イッタラ×ミナ ペルホネン

卓越した芸術性で国内外で数々の賞に輝き、フィンランドを代表するアーティストであるオイバ・トイッカ。彼の無限の創造力とガラスへの深い造詣がイッタラの熟練した職人技と融合し産み出されました。



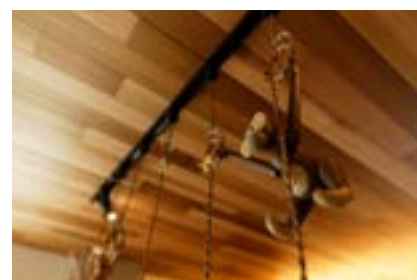
リンナット スーロー S マジス×イッタラ

マジスとイッタラ、オイバ・トイッカのコラボレーションから生まれたコレクション。元々は1970年代からオイバ・トイッカがイッタラにデザインした吹きガラスの「Birds Collection」から始まりました。



リンナット シーリー マジス×イッタラ

リンナットはフィンランド語で「鳥」を意味する言葉です。こちらもコラボレーションから生まれたコレクション。大人の寛ぎの時間から子供部屋の常夜灯まで様々な用途でお使いいただけます。



モンキー カイ・ボイスン

1951年の発表以来、世界中の人に愛され続けている「モンキー」。首、肩、股関節、手首、足首、全9箇所が360°可動し、色々な動きやポーズを楽しむことができます。



タンバリン ラグ ミナ ペルホネン

北欧デザインが好きな方ならご存じの方も、多いミナペルホネンは、日本人デザイナー皆川明が立ち上げたブランド。こちらはミナペルホネンを代表するテキスタイルとなった“タンバリン”柄のラグです。



ファブリック ミナ ペルホネン

ミナペルホネンのインテリア向けファブリック。使い込むうちに裏面の色が現れてくるという特性を持つ生地は、3階モデルで長年使っていけるように、ソファとオットマンの布張として使用しました。



 **SENBOKU HOME**